



「正しく恐れる」～新型コロナウイルス対策に万全を～

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言が5月21日付けで京都府が解除、5月25日付けで残る4都道府県においても解除された以降、京都府内における新規感染者の発生は散発的でしたが、ここ1週間感染者数が増加傾向にあり、予断を許さない状況になっております。

また、6月19日から、都道府県境をまたぐ移動の自粛要請が全面的に解除されたところでありますが、東京都では、若年層を中心に、高水準で感染者が発生しており、今後の感染拡大も懸念されます。

専門家の間では、第2波、第3波が来るとの見方が大勢で、秋か冬に大きな波が来る、流行の波が継続的に発生、じわじわと流行が続くなど様々なパターンが想定されています。いずれの場合も、1年半から2年は感染拡大に備える必要があると言われており、今後とも、新しい生活様式の実践、3密の回避をはじめとした対策の継続が必要です。

しかしながら、当法人をはじめとする社会福祉施設では、換気、消毒などに気をつけていても、密閉、密集、密接の3つの「密」が重なりやすい環境にあります。

3月から4月にクラスター（感染者集団）発生した千葉県障害者支援施設では、3月27日に1名の施設職員が陽性と判明以降、3週間余りの間に、利用者82名中陽性者60名、職員67名中陽性者40名、その他職員家族等も含めると当該事案関連の陽性者数は合計121名に上ったとのことです。

また、施設利用者全員の陰性が確認できたのが5月13日で、当該施設のウイルスとの闘いは、約50日に及び、本事案は私ども法人にとっても決して対岸の火事ではありません。

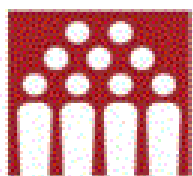
こうした中、先の国の2次補正予算で、介護施設・事業所に勤務し、利用者と接する職員に慰労金が支給されることになりました。新型コロナウイルスが発生又は濃厚接触者に対応した施設・事業者勤務する職員には20万円、その他施設職員には5万円と決して十分とは言えないかもしれませんが、コロナ禍において、介護・支援の現場の労苦が一定評価されたことは今後の励みにしたいと考えています。

新たな感染症との闘いは相手が目に見えないウイルスだけに、過度に恐れたり、また、油断してしまうこともあります。

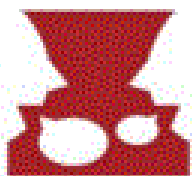
今後とも、「正しく恐れる」ための確かな情報を入手し、ウイルスを持ち込まない、拡げない、持ち出さないを念頭に、「with コロナ」というこの難局を、当法人の組織力、職員力で一致団結して乗り切っていきましょう。

引き続き、職員の皆様のご尽力をお願いします。

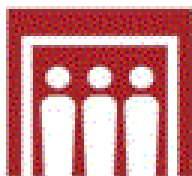
本部事務局



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

洛南エリアTOPICS 【洛南デイあすなろ】

創作活動で『手づくり扇子』を作りました！

日常なかなかできない体験をしていただき、気分転換や季節感を楽しんでいただくことを目的として、5月末から6月初旬にかけ扇子を作成しました！



今回行ったのは「扇子に色を塗る」ということで参加しやすく、個性豊かに自分を表現していただける楽しい企画。色を塗る道具には、筆や刷毛、模様や絵柄のスタンプ、タンポを使用しました。

いざ作成を行うと、筆や刷毛、タンポに絵の具を付け、扇子に集中！ 絵の具の色もそのままの色、混ぜて自分の好みの色にしたりと、とても楽しそうにされていました。



完成した扇子を見てみると、色をぬるだけでも利用者さんごとに個性のある作品ができたのでとてもよかったです。

父の日も近かったためか、お父さんにプレゼントするという声もあり、持ち帰られ扇子をさっそくプレゼントされた利用者さんもおられました。



(洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」：水田 章一)

伏見エリアTOPICS 【伏見障害者授産所】

ふしみ寮(サテライト)での生活を始められました！

今までは実家で親族に見守られながら生活をしておられた利用者のIさんが、地域での一人暮らしを目指し、ふしみ寮のサテライト型で一人暮らしを始められました。

アパートから授産所までの道のりを何度も歩いて覚えたり、使い勝手の良いように部屋を整えたり、Iさんがどこまで自分の身の周りのことができるのか？1人で生活していけるのだろうか？と職員も何度も思いましたが、Iさんの前向きな姿勢と新しい生活を楽しんでいる様子を見て、新しい生活をスタートさせて良かったと思えます。

自分の好きな物だけを買うのではなく、生活をしていくために買わなくてはならない物を知り、自分の工賃の中で計画的にやりくりをしていく大切さを伝えています。今までは毎日入ることのできなかったお風呂も毎日入れるようになり、1人でしておくこと、ヘルパーとすることなどいろいろな約束があり、始めは「1人って大変やな…」と頭を抱えておられることもありましたが、持ち前の前向きさで乗り越えることができました。

コロナウイルスの影響でなかなか出かけることができませんが、工賃を貯めて大好きな服や靴も買いに行きたいと楽しみにしておられます。



(京都市伏見障害者授産所：北本 香里)

『メッセージボードは個性の万華鏡』

約5年前から脈々と受け継がれてきているメッセージボードですが、現在も山科身障会館の入口を通り抜けるとエレベーター前の真正面にドン！と、まるで不動明王のように鎮座しています。

メッセージボードの魅力はなんとといっても書き手の個性が全面に出るところです。

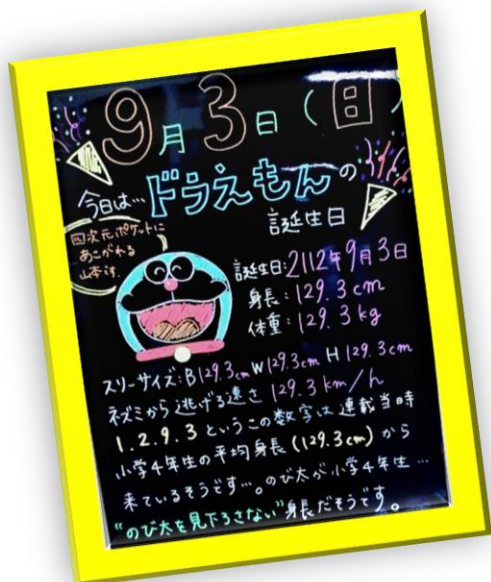
ライターは全部で15名（利用者様2名を含む）で、内容は一人一人の人間性が如実に現れるものから、ときには意外な新しい発見があるもの、クイズ形式ネタ、日常生活に役立つ情報から、見事な挿し絵が入ったものまで様々で大変興味深く、個人的に出勤する上での一つの楽しみになっています。

そんなエンタメ要素もある私の『メッセージボード愛』は今に始まったことではなく、幼少の頃にまで遡ります。それはケーキ屋さんの建物の前に宣伝広告として置いてある『幸せの黒板』というイメージです。クリスマスの楽しいイラストや、最近では毎日誕生日ケーキを贈られるお客さんの名前を書いて祝ってもらえるサービスなどもありますよね。

そのような印象から、いつか自分も書いてみたい、自分の文章を読んでもらった方に微笑んでもらえたらいいな～とずっと考えていました。願いが叶うこともあるもので、仕事としてメッセージボード担当の輪に入れてもらった時はとても嬉しかったです。パティシエじゃなくても書かせてもらえるんだという感じで。

また、仕事目線からメッセージボードを捉えると、担当してくださっている2名の利用者さんの心境が伺えたり、掲示されたネタでコミュニケーションの幅が広がるなど（職員間でも）、良い支援に繋がる懸け橋としての貴重な道しるべにもなっていますので、なくてはならないアイテムです。

今後のメッセージボードの活用方法の一つの案としましては、現在担当されている以外の利用者さんのリクエストネタなども取り上げ、来所する楽しみの一つにさせていただくことで徐々に利用回数が増え、気が付けば山科デイが盛り上がっていた！、そんな状況の実現を職員全員で一致団結して目指しながら、日々精進させてもらおうと考えています。



(京都市山障害者福祉会館 生活介護：藤田 直裕)

支援センターNEWS 【支援センターらくとう】

『KON'S サイクル』さんから電動自転車の約半年の無償提供いただきました

★KON'S サイクルさんから他支援センターへの相談

- ・コロナのため、店の売り上げは落ちており、スタッフの気持ちが下がってきている。
- ・何かしら社会貢献を今後していきたいと考え、自転車屋として出来ることは何かと考えていた。
- ・TV等で、高齢者等の通う場がなくなり、自宅にこもる人も増えたので、訪問する人手や手段がないと知った。
- ・市内の障がいのある人を支える人達も同じような状況ではないかと考えた。
- ・今回 30 台ほど、電動自転車（パナソニック製）を当面半年程無償提供したい。
- ・メンテナンスについては、外回りスタッフがいるので、その者に頼んでもらっても良い。
- ・半年後のことはまた相談していきたい。
- ・初めてのことなので、うまくいくか分からないが、何かやってきたい。

★相談を受けた他支援センターが、らくとうをはじめ京都市内の支援センターによびかけ

以下呼びかけ案内

「社会貢献をしていくことで、スタッフの気持ちを維持し、今後の事を考えていきたいという想いに賛同し、当センターや近くにある事業所は借りる方向で進めています。

せっかくの機会ですので、皆さんも一緒にどうかな…???と思い、メールさせていただきました。」



らくとうの電動自転車が老朽化により、買換えが必要な状況だったため、らくとうからは、半年の無償提供の利用を要望しました。

★KON'S サイクルさんからの提案から感じたこと

福祉関係者以外の一般企業の方で、コロナ禍で困っているであろう障がいのある人を支える人に対してできることを見出し、そうすることが社会貢献にもつながり、働く自分たちも苦しい中だがモチベーションを上げていくことができると、話をいただけたこと。それを受けた支援センターが、同じ市内の支援センターに呼びかけて下さったこと。大変な状況ではありますが、支え合える人たちがいることはとても励みになります。このようにご支援いただけることから、私たちができることは何かを、考えたいと思いました。



※京都の自転車店コンズサイクル：KON'S CYCLE ホームページ <https://www.konscycle.com/>

(京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下 笑子)